



鶏けいめいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

聖書の言葉

「神よ、わたしを憐れんでください 御慈しみをもって。深い御憐れみをもって 背きの罪をぬぐってください。 わたしの咎をことごとく洗い 罪から清めてください」

聖書 (詩編第51編3～4節)

牧師 河合裕志

これは「悔い改めの詩編」と言われ、詩編の中で最も代表的なもの。古来多くの人々に深い感銘を与えて来た。前書きにこのようにある。「ダビデの詩。ダビデがバト・シェバと通じたので預言者ナタンがダビデのもとにきたとき」。

ダビデは紀元前1千年代にイスラエルの王となった者。その彼が部下のウリヤの妻・バト・シェバの美しさに心引かれ、これをわがものとする。そして邪魔者となるウリヤを消そうと一計を案じる。それは戦場に出ている現地指令官に対して、「ウリヤを激戦の最前線に出し、彼を残して退却し、戦死させよ」という大そうアクドイ、血も涙もない命令を発した。そして事はそのように運び、ウリヤは死に至る。

この一部始終を見ていた神は預言者ナタンをダビデに遣わす。ナタンは短刀直入に告げる。「あなたはウリヤの妻を奪って自分の妻とした。ウリヤを剣にかけて殺した」。ダビデは「十戒」の「汝殺すなかれ」「汝姦淫するなかれ」の大罪を犯したことになる。ここに至ってダビデは深い悔い改めに導かれる。

「神よ、わたしを憐れんでください」
～私はなんという罪を犯したことでしょ
う。取返しがつかないような罪を。欲望
に目がくらんでしまいました。欲の赴く
ままに突っ走ってしまいました。「背きの
罪をぬぐってください」～神のいますこ
とをすっかり忘れ、その戒めを無視し、
背反の罪を犯しました。神の記録簿から
私の罪をぬぐい、消去してください。「わ
たしの咎をことごとく洗ってください。」
～石に衣服を打ちつけて洗うように私の
咎＝非行・過ちを洗い切ってください。
「罪から清めてください」～鉱石から不
純物を除去するように私を精錬し、罪を
取り除いて純なる者にしてください…。

なんともセツセツたる訴え、嘆き。こ
れはしかしダビデだけのものではないか
も。私達もダビデ程ではないとしても日
頃、よくないことを考えたり、人を傷つ
けるようなことを言ったり、小さな悪
事・失敗を重ねている。やはり私達も「神
よ、わたしを憐れんでください。罪を赦
してください。清めてください」と祈ら
ざるを得ない。そして神はキリストの十
字架の犠牲の故に私達の罪を赦し、聖霊
を送って日々少しずつ清めて良い実を結
ばせてくれていることを信じ感謝しよう。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時

お話し会、(面談)：水曜日午後1時～7時